

政務活動費収支報告書

令和 6 年 3 月 31 日

富士宮市議会議長 諏訪部 孝敏 様

会派名称 公明会

代表者氏名 佐野 寿夫

令和 5 年度の政務活動費に係る収入及び支出について、下記のとおり報告します。

記

1 収入  
政務活動費 825,000 円



2 支出

項目	金額 (円)	主たる支出の内訳
資料作成費	0	
資料購入費	65,170	書籍代
会議費	86,750	
事務費	7,370	事務用文具代
調査旅費	245,400	
その他経費	9,504	
合計	414,194	

3 残額 410,806 円

令和 5 年度 政務活動費現金出納簿

(単位:円)

月	日	項目	内容	収入金額	支払金額	残高
5	17	政務活動費	政務活動費	825,000		825,000
6	1	資料購入費	図書購入費		60,110	764,890
7	21	事務費	文具代		831	764,059
7	28	調査旅費	視察旅費		245,400	518,659
8	3	その他経費	土産代		9,504	509,155
11	14	会議費	講習会旅費		13,430	495,725
11	16	会議費	講習会参加費		15,000	480,725
1	26	事務費	文具代		1,974	478,751
2	19	事務費	文具代		4,565	474,186
3	12	資料購入費	図書購入費		5,060	469,126
3	18	会議費	講習会参加費		30,660	438,466
3	27	会議費	講習会旅費		27,660	410,806
						410,806
						410,806
						410,806
						410,806
						410,806
			合計	825,000	414,194	410,806

収入金額 825,000 円

支出金額 414,194 円

差引残額 410,806 円

## 令和5年度 公明会政務活動費による予定

1. 先進地視察（調査事項）
  - ①地域づくり・地域参加  
（まちづくり事業・地域再生事業等）
  - ②福祉一般・障がい者福祉・高齢者福祉  
（障がい者支援・福祉サービス事業等）
  - ③保健・衛生・医療  
（自治体病院経営改善プラン等）
  - ④環境（廃棄物・大気）  
（ごみ減量とリサイクル事業・再生可能エネルギー関連・省エネ支援等）
  - ⑤防災・減災（安全・安心なまちづくり事業）
  - ⑥教育（先進的事例・教育振興策）
  - ⑦農業振興
  - ⑧観光事業（世界遺産関連）
  - ⑨SDGs・ゼロカーボンシティ・LGBT
2. 研修会
  - ①地方自治研修会・地域科学研究会への参加
  - ②日本経営協会・全国市町村研修会への参加
  - ③その他
3. 資料
  - ①議員活動関連書籍・辞典等の購入
  - ②自治体情報月刊誌の購入
  - ③市内地図等の購入
4. 消耗品
  - ①筆記用具等・文房具全般
  - ②その他

上記の事項に沿って、令和5年度公明会政務活動費を無駄なく大切に使用していく事を、会派で検討し決定しました。

佐野寿夫

齋藤和文

山藤陽子

第5号様式（第4条関係）

政務活動費交付決定通知書

富行第36号の2  
令和5年5月17日

公明会  
代表者 佐野 寿夫 様

富士宮市長 須藤 秀 彦

令和5年4月27日付けで申請のあった政務活動費の交付について、  
下記のとおり決定したので通知します。

記

令和5年度交付決定額 82万5,000円

NO.

収 入 伝 票

項 目	政務活動費
金 額	852,000円
内 容	政務活動費 3人分 佐野寿夫 山藤陽子 齋藤和文
収 入 先	富士宮市長
収 入 年 月 日	令和5年5月17日
摘 要	

## 支 出 伝 票

項 目	資料購入費
金 額	60,110円
内 容	図書購入費
目 的	調査研究に必要なため
支 出 先	イマジン出版株式会社
支払年月日	令和5年6月1日
その他特記事項 (参加者・人数等)	
自治体情報誌 「ディーファイル」 年払い (26冊分) 60,000円 (雑誌代) 110円 (振込手数料) <hr/> 60,110円 (合計)	

振替受付票

## ご利用明細票

お取扱日	店番	取扱番号
05-06-01		
取扱店		
払込口座		
払込金額	*60,000	料金 *110
振替受付票		
払込みの証拠となるものですが、大切に保存して下さい。料金には、消費税等が含まれています。(ゆうちょ銀行)		
入金額 *60,110		
おつり *0		
楽天カードゆうちょ銀行デザイン！ 新規入会で楽天ポイントもらえる！		

)とおり

印紙税申告納付につき趣町  
税務署承認済

納品書

No. [Redacted]

2023年03月06日

頁 1

富士宮市議会 公明会 様

[Redacted] 版株式会社

下記の通り納品致します。

¥60,000

行	商 品 名	部 数	定 価	合計金額
1	D-file 2023年4月発行号(3月号)上・下	2	2,475	4,950
2	D-file 2023年5月発行号(4月号)上・下	2	2,475	4,950
3	D-file 2023年6月発行号(5月号)上・下	2	2,475	4,950
4	D-file 2023年7月発行号(6月号)上・下	2	2,475	4,950
5	D-file 2023年8月発行号(7月号)上・下	2	2,475	4,950
6	D-file 2023年9月発行号(8月号)合本	1	3,080	3,080
7	D-file 2023年10月発行号(9月号)上・下	2	2,475	4,950
8	D-file 2023年11月発行号(10月号)上・下	2	2,475	4,950
9	D-file 2023年12月発行号(11月号)上・下	2	2,475	4,950
10	D-file 2024年1月発行号(12月号)上・下	2	2,475	4,950
11	D-file 2024年2月発行号(1月号)合本	1	3,080	3,080
12	D-file 2024年3月発行号(2月号)上・下	2	2,475	4,950
13	Beacon Vol.94(夏号),Vol.95(秋号),Vol.96(冬号),Vol.97(春号)	4	1,100	4,400
14	年間購読割引			-60
15				
摘要		合計	26	60,000

請求書

No. [Redacted]

2023年03月06日

頁 1

富士宮市議会 公明会 様

[Redacted] 出版株式会社

下記の通り御請求申し上げます。

¥60,000

行	商 品 名	部 数	定 価	合計金額
1	D-file 2023年4月発行号(3月号)上・下	2	2,475	4,950
2	D-file 2023年5月発行号(4月号)上・下	2	2,475	4,950
3	D-file 2023年6月発行号(5月号)上・下	2	2,475	4,950
4	D-file 2023年7月発行号(6月号)上・下	2	2,475	4,950
5	D-file 2023年8月発行号(7月号)上・下	2	2,475	4,950
6	D-file 2023年9月発行号(8月号)合本	1	3,080	3,080
7	D-file 2023年10月発行号(9月号)上・下	2	2,475	4,950
8	D-file 2023年11月発行号(10月号)上・下	2	2,475	4,950
9	D-file 2023年12月発行号(11月号)上・下	2	2,475	4,950
10	D-file 2024年1月発行号(12月号)上・下	2	2,475	4,950
11	D-file 2024年2月発行号(1月号)合本	1	3,080	3,080
12	D-file 2024年3月発行号(2月号)上・下	2	2,475	4,950
13	Beacon Vol.94(夏号),Vol.95(秋号),Vol.96(冬号),Vol.97(春号)	4	1,100	4,400
14	年間購読割引			-60
15				
摘要		合計	26	60,000

## 支 出 伝 票

項 目	事務費
金 額	831円
内 容	文具代
目 的	会派の調査活動に資するため
支 出 先	株式会社アオイ事務機
支払年月日	令和5年7月21日
その他特記事項 (参加者・人数等) クリアファイル (1,663円×1/2=831円)	
※政務活動費マニュアルⅡ-2 案分充当の原則(1)により案分率 1/2とした	

株式会社アオイ事務機

## 領 収 証

毎度ありがとうございます。 No. ....

R5 年 7 月 21 日

宮崎県議会 様

★ ¥1,663

内訳/消費税額等 (10%) 151

但 事務用品

上記正に領収いたしました。

10% off

3/9

〒418-0051 静岡県富士宮市淀川

株式会社 アオイ事

TEL 0544-22-3

FAX 0544-23-2



## 支 出 伝 票

項 目	調査旅費
金 額	245,400円
内 容	岩手県盛岡市・宮古市・山田町・大槌町行政視察のための旅費
目 的	歴史文化館の活用と重要性、災害復興の再建状況、災害復興高台整備の状況、内水面漁業の状況は全国的に実例が少なく参考調査していききたいため。
支 出 先	佐野寿夫他2人
支払年月日	令和5年7月28日
その他特記事項（参加者・人数等） 佐野寿夫・山藤陽子・齋藤和文の3人	

— 領収書等貼付欄 —

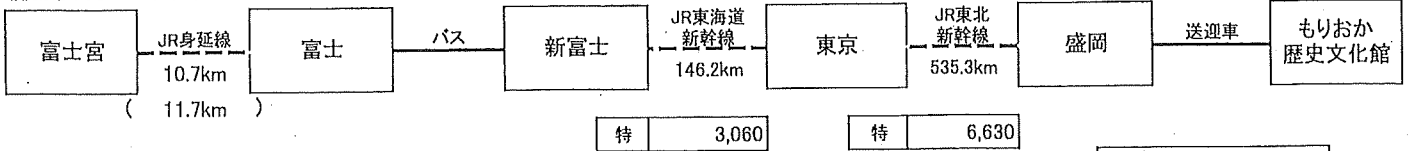
別紙のとおり

# 旅費計算書(政務活動費)

公明会  
(斎藤・佐野寿夫・山藤議員)

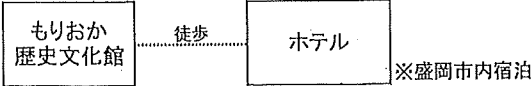
● 1日目：令和5年8月7日(月) 繁忙期

【視察】もりおか歴史文化館(盛岡市内丸1番50号)



特	3,060	特	6,630
		(繁忙)	

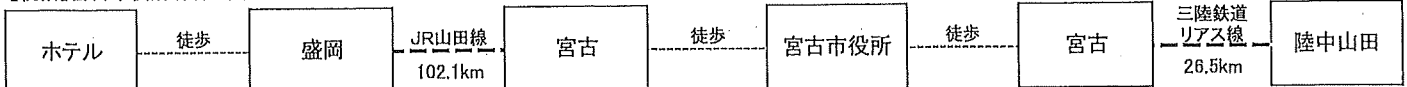
JR運賃営業キロ	
692.2	Km
10,340	円
バス	170 円



※視察:もりおか歴史文化館について

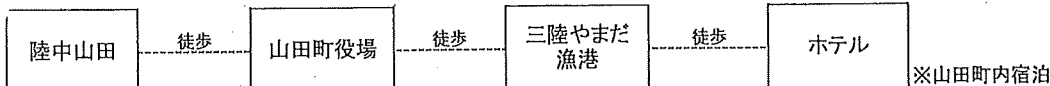
● 2日目：令和5年8月8日(火)

【視察】宮古市役所(宮古市宮町一丁目1番30号)、山田町役場(下閉伊郡山田町八幡町3番20号)



※視察:防潮堤の再建について

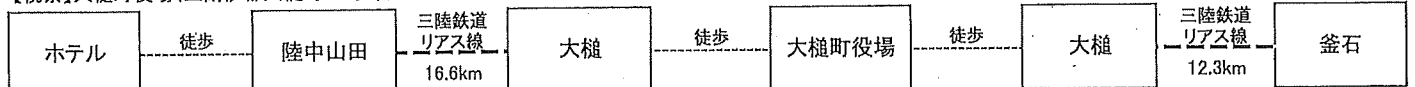
JR運賃営業キロ	
102.1	Km
1,980	円
私鉄	780 円



※視察:復興の状況、内水面での養殖について

● 3日目：令和5年8月9日(水) 繁忙期

【視察】大槌町役場(上閉伊郡大槌町上町1番3号)

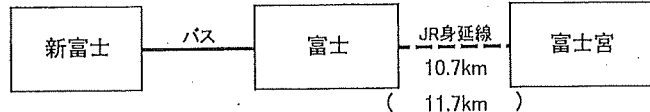


※視察:復興の現状(高台の整備)について



特	5,780	特	3,260
	(繁忙)		(繁忙)

JR運賃営業キロ	
759.0	Km
10,670	円
私鉄	1,010 円
バス	170 円



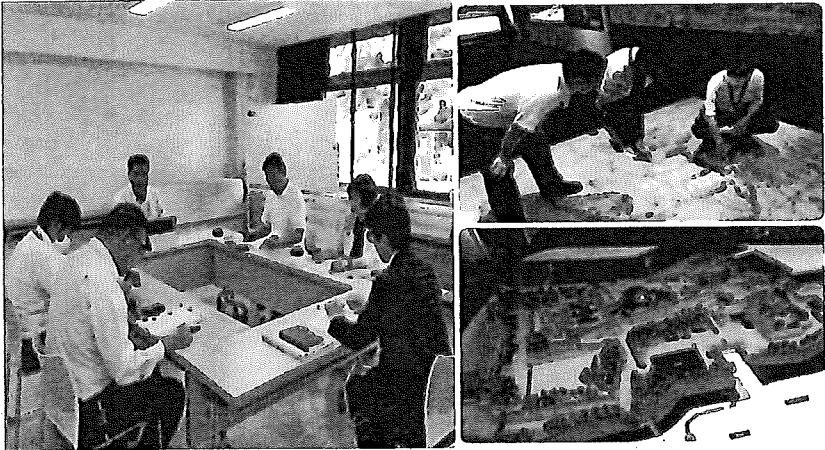
鉄道賃	JR	22,990 円	運賃 A	43,850 円	× 1 人 =	43,850 円
	私鉄	1,790 円				
特急料金	通常	3,060 円	日当	1,650 円 × 3 日 ×	1 人 =	4,950 円
	閑散	円				
	繁忙	15,670 円				
航空運賃	料金	円	宿泊料	16,500 円 × 2 夜 ×	1 人 =	33,000 円
船賃	円					
車賃(バス)	340 円		旅費合計	81,800 円/人 ×	3 人 =	245,400 円
1人往復運賃合計 A	43,850 円					

## 視 察 申 請 書

		予算項目	調査旅費
起 案	令和 5 年 7 月 3 日	決 裁	5 年 7 月 3 日
所 属		氏 名	備 考
1	公明会	佐野 寿夫	
2	公明会	山藤 陽子	
3	公明会	齋藤 和文	
4			
5			
視察市町村	視 察 先	目 的	
盛岡市	もりおか歴史文化館	歴史文化館について	
宮古市	宮古市役所	防潮堤の再建について	
山田町	山田町役場	復興の状況・内水面漁業について	
大槌町	大槌町役場	復興の現状・高台の整備について	
宿 泊 地		出発年月日	帰省年月日
岩手県盛岡市・岩手県山田町		令和 5 年 8 月 7 日	令和 5 年 8 月 9 日

# 視察報告書

会派名	公明会
-----	-----

視 察 年 月 日	令和5年8月7日（月）13時30分～
視 察 先	盛岡市：もりおか歴史文化館
参 加 者	佐野寿夫、齋藤和文、山藤陽子（記）
視察内容  （概要、特色、 効果、課題等）	<p>8月7日（月）13時30分～ もりおか歴史文化館にて、施設概要、建設の経緯、維持運営状況、企画展について</p>  <p>初めに高橋智巳館長よりご挨拶があり、その後、歴史文化課三浦陽一文化財副主幹から説明がありました。もりおか歴史文化館は旧岩手県立図書館の建物を増改築し、平成23年7月、盛岡城跡公園の一角に開館しました。盛岡の歴史及び文化に関する資料を収集、保存、展示することにより、市民の教育及び文化の向上に資する社会教育施設として活用を図るとともに、観光に関する情報や盛岡を訪れる方と市民との交流の場を提供することにより、まちなか観光の拠点として地域の活性化を図ることを目的としている。</p> <p>利用者状況は令和元年までは有料入館者は2万人以上。令和2年からはコロナ禍で1万人まで減少。本年度は例年並み、それ以上に利用者が増加している。</p> <p>説明後、学芸員熊谷博史リーダーより館内の展示物の説明がありました。</p> <p>*展示物について 1階は無料。盛岡の祭り（チャグチャグ馬コ、さんさ祭り、山車）を映像や展示、旬の観光情報を紹介し、盛岡特産品の商品の販売も行い、盛岡の魅力が伝わります。 2階は有料。盛岡藩の歴史や南部家の至宝を展示。</p>

鎌倉時代から青森県から岩手県まで治めてきた南部藩の歴史をいろいろな角度から展示し、旧盛岡藩の城下地図を床に展示し、自分の住んでいる町の場所と比べることができ、身近に感じられる工夫がしてある。戦国時代ゆかりの武将達からの献上品展示。なかでも福岡藩、黒田家が所蔵していたはずの「合子形兜」（ごうすなりかぶと）がなぜ、今、盛岡にあるのか、城下町にタイムスリップしたかのような体験型展示等、あちこちに工夫がしてある。話の中で、南部藩は富士宮市の隣、山梨県南部町の流れになること。上野の南条時光の親族が盛岡に居住していたこと、盛岡市との縁、つながりを感じました。

\*企画展について

1 設置目的を果たすため、当館収蔵資料を中心とした盛岡市の文化財の意義を広めること、盛岡や盛岡藩の理解を深めてもらうとともに魅力に気づいてもらうこと。

2 学芸員による日頃の調査、研究に基づいて、職員全体会議で共有し意見を出し合い吟味し、若い学芸員達と推進している。

3 2019年度、イベント等を市民とともに考える事業の中で盛岡市の高校生により発案され、自由研究コンクールを開催。地方から若者が流れ出している状況を危惧し、盛岡の子供達が地元に関心を持ち、好きになってもらえる機会を作りたいとの思いから実現させた。

自由研究や創作などで、盛岡に関わる作品を募集し、郷土の歴史や文化を大切にすることを育むこと。

ホームページで閲覧したが、子供達の盛岡愛に溢れた素晴らしい作品ばかりでした。（現在は盛岡市内、市外を問わず募集）

\*今後の活用について

ニューヨークタイムズ紙に「2023年に行くべき52か所」に盛岡市が選ばれたこと、石垣を中心とした史跡盛岡城跡や歴史的価値の高い街並みが評価されたことをふまえて

1 現在行われている石垣修復工事や本丸地区における歴史的建造物の復元に向けた取組について情報を共有し、情報提供の場として活用を図っていく。

2 企画展、テーマ展で、歴史資料や盛岡藩南部家にまつわる資料の公開・活用。観光案内ボランティアと連携し情報提供についても、機能を強化していく。

3 さんさ祭り、チャグチャグ馬コ、山車行事の伝統的な祭りの普及・解説について、デジタル技術を活用した情報提供、体験方法について研究していく。

市民とともに盛岡郷土愛を歴史館を通して情報共有し企画展も工夫している。

当市においても、今後、活かしていきたいと思います。

# 視察報告書

	会派名	公明会
視察 年月日	令和5年8月8日(火) AM10:00～	
視察先	岩手県宮古市：宮古市の復興の現状について	
参加者	佐野寿夫(記)、齋藤和文、山藤陽子	
視察内容 (概要、特色、 効果、課題等)	<p>令和5年8月8日(火) AM10:00～宮古市役所</p> <p>私は、宮古市に12年前の東日本大震災の発災した年の8月に障がい者の福祉避難所の状況と「万里の長城」と呼ばれた田老防潮堤と周辺の津波被害状況を視察した経緯があります。</p> <p>初めに竹花邦彦副議長からご挨拶を頂きました。東日本大震災から12年、宮古市もまちづくりの形が出来てきました。復興の状況を学んで生かして行って欲しいと歓迎の御挨拶を頂きました。</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>引き続き、企画部企画課 箱石剛課長より挨拶、中村尚道企画調整係長より復興状況について概要説明を受けました。</p> <p>宮古市は過去に2度の合併をしており富士宮市の3倍の面積を擁しています。この面積の広さが津波発災後の後方支援に役立ったそうです。市庁舎が被災してしまい職員は翌朝まで庁舎から出られず孤立。初動が大きく遅れてしまった。</p> <p>また、公用車70台が被災してしまった。</p> <p>そこで、内陸部の旧役場が、拠点や物資保管場所として活用され公用車も旧役場の車輛が活用された。</p>	

宮古市は岩手県下で家屋倒壊数が9,088棟と最多でした。お盆までには、避難所85カ所の被災者が仮設住宅に移ることができた。仮設住宅入居に際しては、地域ごとのコミュニティに最大に配慮されたそうです。

県下最多の家屋倒壊数で瓦礫置き場には大変苦慮されたそうです。

(瓦礫総数71万トン/通常の31倍)

瓦礫対応を推測して瓦礫置場の場所の確保をしておくことは必要だそうです。

#### 現状について

- ・震災から8年で居住エリア、商業エリアの区分け整備が完了し、仮設住宅から新公営住宅への入居も完了した。
- ・田老防潮堤の崩壊カ所も整備され高さも改良されている。
- ・2026年度完成見込みの河川への津波の逆流を防ぐ大規模な閉伊川水門工事の実施。
- ・高規格道路の整備で利便性が向上している。
- ・市内7割の高齢者への今後の対応と商業エリアの活用が課題。

#### 明治・昭和の津波からの教訓（大海嘯記念）

- 一、大地震の後には津波が来る。
- 二、地震があったら此処へ来て一時間我慢せ
- 三、津波に襲われたら何処でも此の位い高所へ逃げろ。
- 四、遠くへ逃げては津波に追付かる。
- 五、常に近くの高い所を用意して置け。

昭和九年三月

#### 【つなみてんでんこ】

てんでん・ばらばらに、自分の命は自分で守るという防災教育です。

私達も日頃からの防災グッズの備え等、防災意識が大切です。

#### (一社) 宮古観光文化交流協会のガイドボランティア

津波遺構 たろう観光ホテル ～もの言わぬ語り部として～

宮古市役所での座学をおえて、津波遺構たろう観光ホテルへ移動してガイドボランティアから現地案内視察を行った。

津波に耐え抜き1階から3階が破損した、たろう観光ホテル内を実際に案内して頂く。破損カ所は補強工事されエレベーターも設置されており6階にてホテルオーナーが実際に撮影された津波ビデオを基に説明を受けました。

たろう観光ホテルは津波遺産として後世に継承していくそうです。ガイドボランティアもホテルの周辺住民だったそうです。



ガイドボランティアさんから津波当日の話を伺いました。

津波が来るのではと、たろう観光ホテルの前を山に向けて避難した。その際感じたことは、今までになく周辺が静かだった。避難しないで家の中にいる人が多かった。それから津波発生4分間で全てが無くなってしまった。

ホテルオーナーが撮影したビデオを見ると津波発生時、田老防潮堤の上に立って津波の動きを見ている人の姿が映っており、一気に田老防潮堤を津波が呑み込みホテルにぶつかる映像では、その瞬間大きく映像がぶれており激しさを物語っている。防潮堤にいた方は一瞬で呑み込まれてしまったでしょう。

「万里の長城」と呼ばれた田老防潮堤を住民の多くの方は、津波が簡単に超えてこないだろうという考えの方が多かった事と、田老防潮堤で海の様子が見えなかったのも避難の遅れに繋がってしまったと思います。津波後、地形がずれ込んだそうです。亡くなられた多くの犠牲者の皆様のご冥福をお祈りいたします。

当市にあっては、南海トラフ地震、富士山噴火といずれも発生したら甚大な被害をもたらす事は間違いありません。

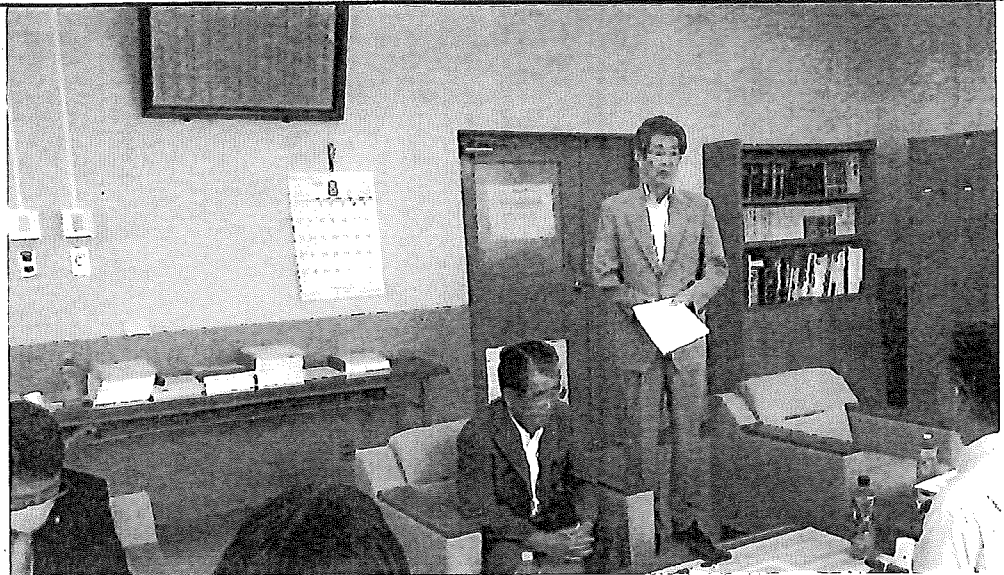
個々にあっては、防災グッズや避難経路など基本の備えを再認識していく必要があります。

避難計画、瓦礫置場計画、避難所等、しっかりと確認し再提案して行きたいと思います。



## 視察報告書

会 派 名	
公明会	
視察 年 月 日	令和 5 年 8 月 8 日(火) 13:30—15:30
視 察 先	岩手県山田町
参 加 者	佐野寿夫・山藤陽子・齋藤和文
視察内 容	<p>日時；令和 5 年 8 月 8 日 内容①山田町における震災復興について 場所；山田町役場</p> <p>(概要、 特色、 効果、 課題等)</p> <p>佐藤町長・昆議長のあいさつがあり震災復興について説明があった。2011年 3 月 11 日(金)午後 2 時 46 分地震が発生。山田町は大沢地区で最大深度 5 強を観測。直ちに山田町災害対策本部を設置。2 時 49 分大津波警報が太平洋沿岸にて発令。3 時 22 分津波が到達。人的被害 824 名死亡・1 名行方不明→人口の 4.3%であり、家屋被害は、全 7,199 棟のうち 3,369 棟(46.3%)が被害にあった。地区によっては 7 割を超える家屋被害を出した。公共施設の多くが被害を受け、消防署が使用不能となり、主要な道路が冠水し鉄道も橋げたごと流された。外海内海と同時に 2 回も津波にあった船越地区では校務員の進言により皆山へと避難でき一人も被害者を出さなかった。 (船越小学校は海拔 12m、津波の遡上高は 18mに到達する者であった)災害廃棄物仮置き場には東京ドーム 22 個の敷地に約 54.2 万トンの廃棄物が集められた。避難施設は町内 35 か所、最大 5,700 人が避難した。その後応急仮設住宅 43 か所、1,940 戸を設置し完成後は避難施設を閉鎖した。</p> <p>その後復興のまちづくりは『二度と津波による犠牲者をださない』との思いで計画実行に移った。国県の指針・復興計画に加え、町復興ビジョン、最終的に復興計画を策定、復興を進めた。再度津波から命を守るまちづくり、各産業の復旧と再生発展、住民主体の地域づくりと壊滅状態である、街の復興にはあらゆる方向性から検証し多くの町民の声、各種団体企業の意見を聞く必要がある。計画期間は復旧・再生・発展と分け、3-4 年で段階移行している。町内には 6 地区あり、各地区で地盤の嵩上げ、高台移転を計画し町民との対話を重視し復旧を完了している。新たな防潮堤も津波想定の前、高さを設定し設置している。現在仮設住宅の入居は、災害公営住宅と自力の再建住宅の完了を持って、すべて解消されている。富士宮では地震と富士山噴火が災害となり得る。噴火は長期間にわたって災害が継続する可能性が高い。長期化するればするほど、復旧も復興も遅れることになる。当市はその考えを持って様々な対応策に当たってもらいたい。</p>



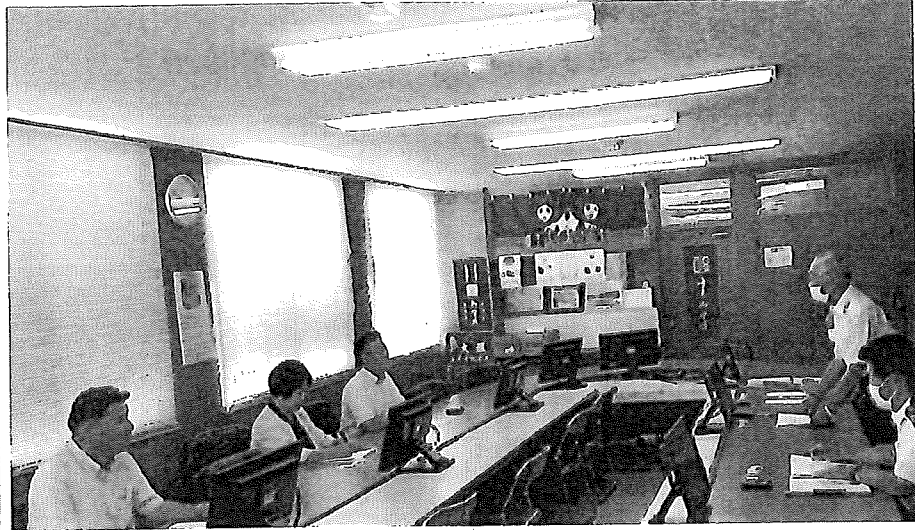
内容②三陸やまだ漁業協同組合のトラウトサーモン養殖について  
場所；三陸やまだ漁業協同組合内

平成30年以降、岩手県三陸付近では想定外の秋鮭の回帰不足が始まり、令和3年度においては1%以下、山田町では22匹しか漁獲できなかった。さらに令和2年度新型コロナウイルス感染症の影響で、生食用カキの出荷が減少し始めた。鮭とカキのダブルパンチにより組合経営に赤字が生じるようになった。養殖へのきっかけは、山田町からの提案にある。1度目はリスクが大きいと判断し断念。再度町より2度目の提案と支援要請があり、試験的に行うと判断した。問題点としては、組合員の同意・養殖を行うことによる海中をエサで汚すことにならないか、作業員の確保(養殖は初めて)、販売網の確保などをクリアして、2年間の試験期間を経て、令和5年度には魚類養殖漁業権免許を取得し、本養殖に移行予定というところまで来ている。対策対応としては、新規の従業員はいない。ほとんどが漁業者の兼務で対応し、作業船も定置網船や漁業の所有船で対応するなど、初期投資も抑えられている。販売も山田魚市場にて入札方式で行うなど広く販売している。単価も試算した結果から導いた単価650円/kg以上となっている。

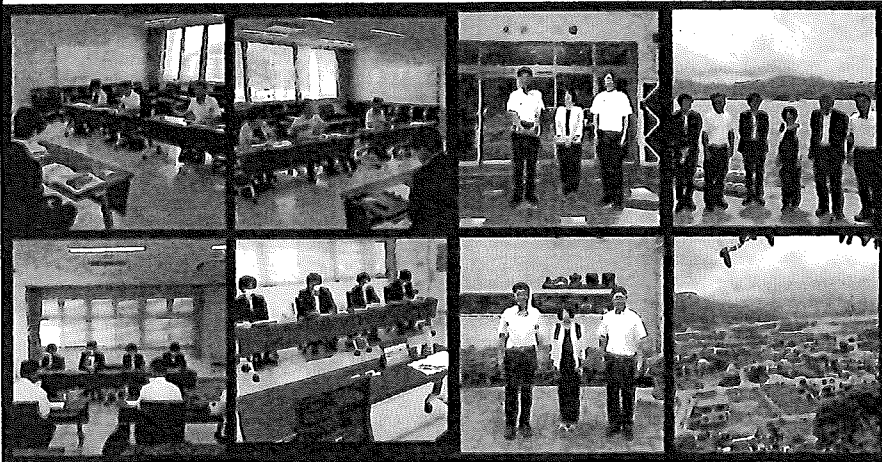
国内の鮭系の不漁により代替策を探した結果、そしてウクライナ侵略戦争による北欧からのサーモン不足の結果日本国内はサーモン・鮭不足に陥った

ことにより、良い影響を生み出している。

富士宮市でもニジマスの養殖を50年前から行っており、出荷数量も全国で1番である。国内の動向を鑑みて、これからの養殖につなげて頂きたい。如何にして付加価値を付け、高価格で出荷できるかが、富士宮のニジマス養殖の未来にかかっている。



## 視察報告書

	会派名	公明会
視察年月日	令和5年8月9日(水) AM9:30～	
視察先	岩手県大槌町：復興の状況（高台の整備など）について	
参加者	佐野寿夫（記）、齋藤和文、山藤陽子	
視察内容 <small>（概要、特色、効果、課題等）</small>	<p>令和5年8月9日(水) AM9:30～大槌町役場</p> <p>私は、宮古市と同様に大槌町に12年前の東日本大震災の発災した年の8月に高台の避難所から津波に呑み込まれたまちを視察した経緯があります。今回、同じ場所から眺めて見ると綺麗にまちが再生されており何だか嬉しい気持ちになりました。</p>	
		
	<p>初めに地域整備課 中野智洋課長より挨拶と説明を受けその後、防災対策課 三浦徹也班長より概要説明を受けました。</p> <p>大槌町は、津波で町長及び幹部職員が亡くなられてしまい当時若手だった中野智洋課長達が中心となって復興を進めて行ったそうです。被災率は56%、岩手県内No.1だったそうであります。</p> <p>全国から多くの自治体職員やボランティアの支援を頂き復旧活動を進め被災者6,000人を38カ所の避難所に収容。その後、48団地の仮設住宅2,106戸（参：添付写真資料）を整備。6カ所の仮設店舗も開設された。</p> <p>地域復興協議会においては、各地区のコンパクトなワークショップに力を入れ複数回実施し、まちづくりの方向性や事業の進捗などの説明、協議を行い、住民の方々の意見を復興まちづくりに生かしていった。</p>	

まちづくりには、CM方式を採用し8年かけて作り上げた。

(CM方式) (コストラクションマネジメント方式)

設計、施工、マネジメントに関して、事業の早い段階から民間技術力を導入して、官民連携して事業推進を図る建設生産・管理システムです。

各地区ごとに適した区画整備を行い特色を活かしたまちづくりを実施して行った。

居住エリア、商業エリアを明確にして骨格道路沿いに災害公営住宅を集約し入居率も100%近くである。仮設住宅からの移転も全て終わっている。

初めは、災害公営住宅への入居をためらっていた方々も入居後、快適性に満足されているそうです。



現地を視察すると高台の集合住宅には、集会室も完備されており木材も取り入れられて快適な印象です。

個別住宅は、大槌駅の直ぐそばに建設されており居住エリアで、住宅が立て並ぶ中で利便性が良さそうです。

しかし、住み慣れた家屋敷を失った被災者のお気持ちを思うと新居住地で、いつまでも健康で新たな歴史を築いて行って頂きたいと思えます。

自然災害は、何時どこでやってくるかわかりません。明日は我が身という気持ちで、日々の防災意識の向上に努めていく必要性を感じます。改めて今回の視察を通し当市の防災対策の再確認と防災訓練や防災情報発信拠点に足を運び我が身を触発させていく事に努めて参ります。

## 支 出 伝 票

項 目	その他経費
金 額	9,504円
内 容	視察における土産代
目 的	盛岡市・宮古市・山田町・大槌町の 視察に伴う土産(4か所)
支 出 先	有限会社 稲葉茶園
支払年月日	令和5年8月3日
その他特記事項(参加者・人数等)  お茶 2,376円 × 4個 = 9,504円	

領収書発行日

2023年08月03日

一連No

領収No

領 収 書

富士宮市議会 公明会 様

¥9,504-

外税対象※8.0%

¥8,800

外税※

¥704

(但しお茶代として、正に領収致しました)  
印刷面を内側に折って保管願います

印

(有)稲葉茶園

静岡県富士宮市西小泉町5-1

電話:0544-27-0473

FAX:0544-27-0908

別紙のとおり

## 支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	13,430円
内 容	地方議員研究会「議会改革の視点と展望」講習会へ参加するための旅費
目 的	議会改革をテーマとした勉強会に参加するため
支 出 先	齋藤和文 1名
支払年月日	令和5年11月14日
その他特記事項 (参加者・人数等)	

— 領収書等貼付欄 —

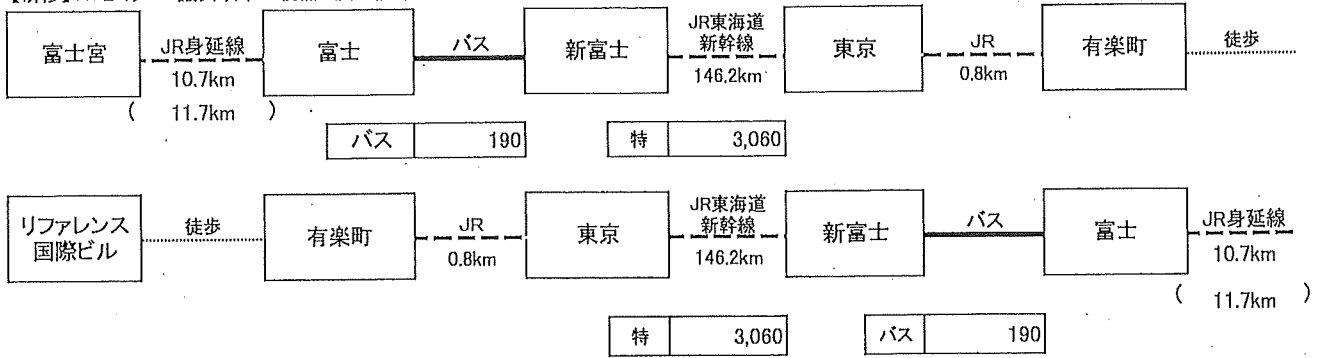
別紙のとおり

旅費計算書(政務活動費)

公明会  
(齋藤和文議員)

● 1日目: 令和5年11月16日(木)

【研修】CKセミナー「議会改革の視点と展望」(東京都千代田区丸の内3-1-1国際ビル)



富士宮

JR運賃営業キロ	
315.4	km
5,280	円

鉄道賃	JR	5,280 円	運賃 A	11,780 円 × 1 人 = 11,780 円				
	私鉄	円		日当	1,650 円 × 1 日 × 1 人 = 1,650 円			
特急料金	通常	6,120 円	宿泊料		16,500 円 × 0 夜 × 1 人 = 0 円			
	閑散	円			車賃 (バス)	380 円		
	繁忙	0 円				1人往復運賃合計 A	11,780 円	
航空運賃	料金	円	旅費合計	13,430 円/人 × 1 人 = 13,430 円				
船賃		円						



## 支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	15,000円
内 容	地方議員研究会 「議会改革の視点と展望」
目 的	議会改革をテーマとした勉強会に参加し、 研究検討するため
支 出 先	地方議員研究会
支払年月日	令和5年11月16日
その他特記事項 (参加者・人数等)  齋藤和文 1名	

領収書発行用紙

領収証

2023 年 11 月 16 日

富士宮市議会公明会 様

★

¥15,000

但 11/16 10時～ 議会改革の視点と展望

研修会受講代として

上記正に領収いたしました

地方議員研究会

〒530-0001

大阪府大阪市北  
大阪駅前第2ビル

TEL 050-6

## 研 修 参 加 申 請 書

		予算項目	会 議 費
起 案	令和 5 年 11 月 14 日	決 裁	令和 5 年 11 月 14 日
所 属	氏 名		備 考
1	公明会	齋藤和文	
2			
3			
4			
5			
研修市町村	研 修 先	研 修 名	
東京都千代田区	地方議員研究会	議会改革の視点と展望	
研 修 目 的			
市議会議会改革のための研修			
宿 泊 地	出 発 年 月 日	帰 省 年 月 日	
無し	令和 5 年 11 月 16 日	令和 5 年 11 月 16 日	

政 務 活 動 費 用

## 研修報告書

会派名		公明会
研修 年 月 日	令和5年11月16日	
研 修 名	議会改革の視点と展望	
参 加 者	齋藤和文	
研修内容 (概要、特色、 効果、課題等)	<p>講師；牧瀬稔氏 関東学院大学地域創生学科准教授</p> <p>まず研修の冒頭で、議会基本条例の制定等の話が出てきた。全国の自治体のうち、2022年現在で965自治体が制定済みである。課題としては、『見直し規定』が用意されている一方で、『見直し規定のない議会基本条例もある』と指摘があった。富士宮市は『見直し規定』はあるが見直し自体を施行後行っていない。さらに、この条例の内部評価・外部評価に対しても言及があった。今後この2点、『見直し規定』と『内部評価』、『外部評価』が課題になり、不定期の見直し・評価を定期的に行うことが、真の議会改革の一步になると感じた。</p> <p>講義の内容については、①議会の役割②議会改革とは何か③議会基本条例の現状④条例とは⑤議員提案政策条例の効果を高める規定⑥終わりに、このように進んだ。議会の役割については、大きく2つある。首長等・行政の監視機能と条例案を議会に提出する権限を保持していることである。今後重要なことは、行政監視機能と政策立案機能の先には、議会の役割である『住民福祉の増進』があることを再認識した。議会改革をすることが目的化してしまった。目的化する理由の一つに、議会ランキングを気にしすぎる傾向は良くないと思われる。</p> <p>議会基本条例を議会改革にどう活用するのか、については行政監視機能と政策立案機能の強化、強化することにより住民福祉の増進を実現、強化する手段として基本条例に条文を書き込む、一例として議会報告会や視察の規定は、政策立案機能の強化に結び付くなどが考えられる。専門的な知見(大学等研究機関との連携)、議会モニター、調査研究機関、議会シンクタンクなどから調査研究を行い多くの意見提案をしてもらうなどが方向性として必要と思われる。これらのことを行うことにより、議会の進む方向性が示されるとともに、単年毎もしくは数年毎の議会基本条例の見直しが必須となる。見直し時に動きがなかったとしても報告することにより議員として意識を向上出来、市民にも条例自体が存在し続けていると知らせることが重要である。これからの議会は、行政監視と政策立案に加え、行政機関へのマネジメント機能を有することにより、どれだけ将来に向けた提案が出来るのかが真の意味で重要であり、必要と感じた。</p>	

## 支 出 伝 票

項 目	事務費
金 額	1,974円
内 容	文具代
目 的	会派の調査活動に資するため
支 出 先	パッケージプラザ富士宮店
支払年月日	令和6年1月26日
その他特記事項 (参加者・人数等)	
角封筒 角2	ウグイス100枚 1,974円
角封筒 角2	ブルー 100枚 1,974円
	合計 3,948円
	(3,948円×1/2=1,974円)
※政務活動費マニュアルⅡ-2 案分充当の原則(1)により案分率1/2とした	

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

別紙

領収書等貼付用紙

項目	事務費	内容	文具代
領収書等貼付欄			
<p style="text-align: center;">領収証 シレポカールフ <b>パッケージプラザ</b> <b>富士宮店</b> TEL 0544-25-6770</p>			
<p>日頃ご愛顧頂き有難うございます 本日はご来店有難うございます またのご来店をお待ちしております</p>			
<p>2024年 1月26日(金) 10:52 No. [REDACTED]</p>			
<p>0746 4901755762815 アイ-ワトリ カク2 ウグイス 内 ¥1,974</p>			
<p>0746 4901755762839 アイ-ワトリ カク2 プール 内 ¥1,974</p>			
<p>小計 ¥3,948 内税対象額 10.00% ¥3,948 内税 10.00% ¥358 合計 ¥3,948 (うち消費税 ¥358)</p>			
<p>お預り ¥10,000 (消費税等 ¥358)</p>			
<p>お釣り ¥6,052</p>			
<p>[REDACTED]</p>			
<p>注) 軽減税率(8%)適用商品は「軽」が印字されております</p>			
<p>登録番号 [REDACTED]</p>			
<p>取引No. [REDACTED] 2点買</p>			
<p>[REDACTED]</p>			
<p>[REDACTED]</p>			
<p>[REDACTED]</p>			
<p>[REDACTED]</p>			
<p>[REDACTED]</p>			
<p>[REDACTED]</p>			
<p>[REDACTED]</p>			
<p>[REDACTED]</p>			
<p>[REDACTED]</p>			
<p>[REDACTED]</p>			
<p>[REDACTED]</p>			
<p>[REDACTED]</p>			
<p>[REDACTED]</p>			

富士宮市議会公明会

様

領収証

¥3,948-

上記正に領収しました(消費税等

登録番号 [REDACTED] ¥358-を含まず)

現計

(消費税等

¥3,948-  
¥358-を含まず)

2024年 1月26日(金)

## 支 出 伝 票

項 目	事務費
金 額	4, 5 6 5 円
内 容	文具代
目 的	会派の調査活動に資するため
支 出 先	株式会社アオイ事務機
支払年月日	令和6年2月19日
その他特記事項 (参加者・人数等)  NECトナー PR-L5300-11 (9, 130円(税込)×1/2=4, 565円) ※政務活動費マニュアルⅡ-2 案分充当の原則(1)により案分率 1/2とした	

富土市議会議事録

**領 収 証**

毎度ありがとうございます。 No. ....

R6 年 2 月 1 9 日

富土市議会議事録様

★ 9,130

内訳/消費税額等(10%) 830 税抜 8300

但 事務用品 NECトナー  
上記正に領収いたしました。 PR-L5300-11

〒418-0051 静岡県富士宮市淀橋1117-6  
株式会社 アオイ事務機

TEL 0544-22-3  
FAX 0544-23-2

## 支 出 伝 票

項 目	資料購入費
金 額	5,060円
内 容	図書購入費
目 的	調査研究に必要なため
支 出 先	株式会社谷島屋 富士宮店
支払年月日	令和6年3月12日
その他特記事項 (参加者・人数等)	
実践！自治体監査の考え方と実務 2,860円学陽書房 監査委員事務局のシゴト 2,200円ぎょうせい 合計 5,060円	

領収書発行用紙

## 領 収 書

様

領収日 2024年03月12日

領収書No. [REDACTED]  
(伝票 No. [REDACTED])

¥5,060-

(内 (10%) 税抜	¥4,600-	消費税 10%	¥460-
(内 (8%) 税抜	¥0-	消費税 8%	¥0-
		上記消費税	460円を含みます

注) §は軽減税率 (8%) 適用商品

但し、書籍代

上記正に領収いたしました  
株式会社谷島屋 富士宮店  
静岡県富士宮市宮北町71抜者 [REDACTED]  
0544-22-8020

登録番号 [REDACTED]

別紙のとおり

## 支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	30,660円
内 容	地方議員研究会 「共創による地域公共交通のり・デザインと自治体の 関わり方」 「地方議員のための地域経済分析システム RESAS 活用 基礎編」
目 的	地域交通・議員力をテーマとした勉強会に参加し、 研究検討するため
支 出 先	地方議員研究会
支払年月日	令和6年3月18日
その他特記事項（参加者・人数等）  齋藤和文 1名	

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり





別紙

領収書等貼付用紙

項目	会議費	内容	講習会参加費
----	-----	----	--------

領収書等貼付欄

領収証

2024 年 3 月 28 日

富士宮市議会公明会 様

★

¥15,000

但 3/28 10時～ 共創による地域公共交通のリ・デザインと自治体の関わり方

研修会受講代として

上記正に領収いたしました

地方議員研究会

〒530-0001

大阪府大阪市北

大阪駅前第2ビ

TEL 050-6

領収証

2024 年 3 月 29 日

富士宮市議会公明会 様

★

¥15,000

但 3/29 10時～ 地方議員のための地域経済分析システムRESAS活用 基礎編

研修会受講代として

上記正に領収いたしました

地方議員研究会

〒530-0001

大阪府大阪市北

大阪駅前第2ビ

TEL 050-6

## 支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	27,660円
内 容	地方議員研究会「共創による地域公共交通のリ・デザインと自治体の関わり方」 「地方議員のための地域経済分析システム RESAS 活用基礎編」 講習会へ参加するための旅費
目 的	地域公共交通と議員力向上をテーマとした勉強会に参加するため
支 出 先	齋藤和文 1名
支払年月日	令和6年3月27日
その他特記事項（参加者・人数等）	

— 領収書等貼付欄 —

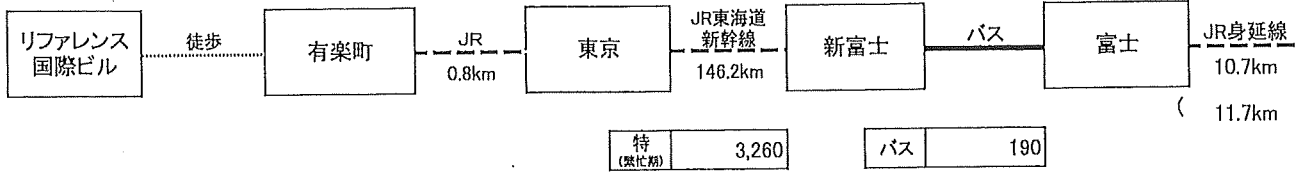
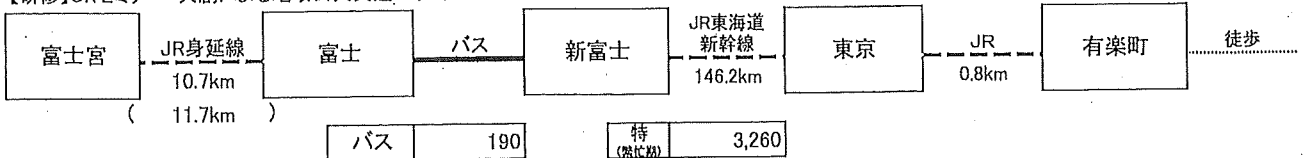
別紙のとおり

旅費計算書(政務活動費)

公明会  
(齋藤和文議員)

● 1日目: 令和6年3月28日(木) 繁忙期

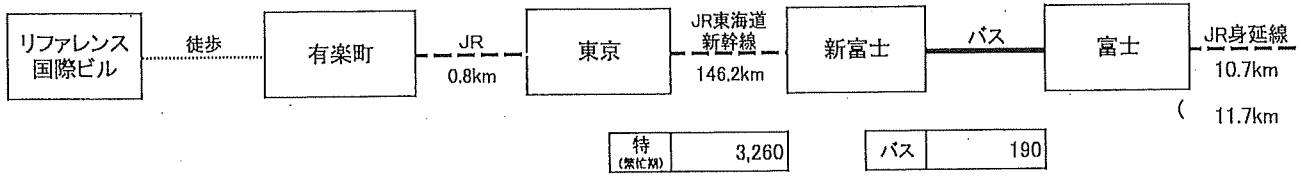
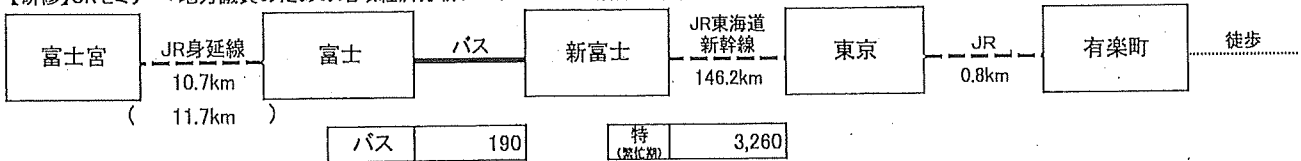
【研修】CKセミナー「共創による地域公共交通のリ・デザインと自治体の関わり方」(東京都千代田区丸の内3-1-1国際ビル)



富士宮	JR運賃営業キロ
	315.4 km
	5,280 円

● 2日目: 令和6年3月29日(金) 繁忙期

【研修】CKセミナー「地方議員のための地域経済分析システムRESAS活用基礎編」(東京都千代田区丸の内3-1-1国際ビル)



富士宮	JR運賃営業キロ
	315.4 km
	5,280 円

鉄道賃	JR	10,560 円	運賃 A	24,360 円	× 1 人	= 24,360 円
特急料金	私鉄	円	日当	1,650 円 × 2	日 × 1	人 = 3,300 円
	通常	円				
	閑散	円				
航空運賃	料金	13,040 円	宿泊料	16,500 円 × 0	夜 × 1	人 = 0 円
船賃	円					
車賃(バス)	760 円					
1人往復運賃合計 A		24,360 円	旅費合計	27,660 円/人	× 1 人	= 27,660 円

## 研修参加申請書

		予算項目	会議費
起案	令和 6 年 3 月 5 日	決裁	令和 6 年 3 月 5 日
所 属	氏 名		備 考
1	公明会	齋藤和文	
2			
3			
4			
5			
研修市町村	研 修 先	研 修 名	
東京都千代田区	地方議員研究会	共創による地域公共交通のリ・デザインと自治体の関わり方	
研 修 目 的			
地域公共交通の今後のための研修			
宿 泊 地	出 発 年 月 日	帰 省 年 月 日	
無し	令和 6 年 3 月 28 日	令和 6 年 3 月 28 日	

政 務 活 動 費 用

## 研修報告書

会派名	公明会
-----	-----

研修 年 月 日	令和6年3月28日
研 修 先	地方議員研究会 共創による地域公共交通のり・デザインと自治体の関わり方
参 加 者	齋藤和文
研修内容  (概要、特色、 効果、課題等)	<p>『共創による地域公共交通のり・デザインと自治体の関わり方』の講義研修を、早稲田大学スマート社会技術融合研究機構 電動車両研究所井原雄人准教授から受けた。コロナ下では、鉄道では減便等を行わず、各路線とも従来通りのダイヤで運行した。路線バスでは、利用の少ない時間帯の減便や平日ダイヤを休日ダイヤとするなど一部の路線で減便運行した。高速バスでは停止をした。これは当富士宮市でも同様の対応。タクシーでは利用者が大幅に減少していることから、感染防止対策を徹底した上で運行台数も減らして運行。代行運転は利用者も減り、会社も多くが倒産している。そのような中で、エッセンシャルワーカーの通勤や市民の生活維持のための運行は維持しなければならないし、要介護者などの通院・通所など必要不可欠な移動の維持が求められていた。各業界はどうかであったのかというと、飲食店では売り上げが激減し、感染リスクも激減した。小売店では売り上げは維持できたが、感染リスクは増加した。交通事業者はどうかというと、売り上げは減少し、感染リスクは増加した。公共交通事業者は、感染リスクのある中でも運行の継続が求められる一方、外出自粛要請で利用者は激減した。しかし、運航を継続し休業していないため休業補償の対象外である。当然ながら新型コロナが5類に移行し国民も平穏を取り戻しつつあり、利用人数・利用者もコロナ以前に戻りつつあるが完全回復していないことは問題である。さらに、各公共交通会社はコロナで赤字を受けたわけではなく、以前から赤字であることも知っておかなければならない。コロナによる交通手段の変化は、電車バスから自家用車に変化、買い物も店からネットショッピングへと変化した。外出を控えていた高齢者がコロナ後歩行に自信がなくなった。この影響と公共交通の弱体化は今後福祉や介護の負担増加につながる可能性あり。弱体化を防ぐには、公共交通機関の利用を少しでも増やすほかない。現在自動車を運転している方にこの話をしても何も進まない。利用をしたことがあるが今は利用していない方、今まで全く利用したことは無い方に対してどのようなアプローチを誰がどのように行うのかが重要と考える。大手バス会社等が相互協力しながら、市民が少し利用を増やすことで、路線の減便と撤退がなくせるということを市民は知らなければならないし、我々議員も周知していきたい</p>

## 研修参加申請書

		予算項目	会議費
起案	令和 6 年 3 月 5 日	決裁	令和 6 年 3 月 5 日
所 属	氏 名		備 考
1	公明会	齋藤和文	
2			
3			
4			
5			
研修市町村	研修先	研修名	
東京都千代田区	地方議員研究会	地方議員のための地域経済分析システムRESAS活用基礎編	
研 修 目 的			
議員力向上のための研修			
宿 泊 地	出発年月日	帰省年月日	
無し	令和 6 年 3 月 29 日	令和 6 年 3 月 29 日	

政 務 活 動 費 用

## 研修報告書

<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td style="width: 50px;">会派名</td> <td>公明会</td> </tr> </table>		会派名	公明会
会派名	公明会		
研修 年 月 日	令和6年3月29日		
研 修 先	地方議員研究会 地方議員のためのRESAS活用：基礎編		
参 加 者	齋藤和文		
研修内容 (概要、特色、 効果、課題等)	<p>研修を、行政システム株式会社顧問の榎並利博氏より受けてきた。RESASとは、地域経済分析システムと言い、内閣官房の中のデジタル田園都市国家構想実現会議事務局と内閣府地方推進事務局が運営している人の動き流れ、人口構造、産業の動向構造などをいわゆるビッグデータ化し可視化するシステムである。基礎編なので、全体像から説明を受けた。地方議員なので多くお項目から知っておくべきこととして、メインメニューの「人口マップ」「医療福祉マップ」「地方財政マップ」は利用使用すべきであると冒頭話があった。データについては、基本市町村データと検索できるが、都道府県データまでのものもある。実技講習に移るが、大項目「人口マップ」の中に、中項目「人口構成」「人口増減」「人口の自然増減」「人口の社会増減」「新卒者就職・進学」「将来人口」「人口メッシュ」「将来人口メッシュ」が選択できる。これらのデータから、自治体の将来を予測し、2045年における自治体の人口を予測する。2045年の人口構成は、その時の老年人口の比率は、生産年齢人口は現在と比べてどのくらいになるのかを目で見て予測確認できる。人口推移・人口ピラミッド・人口増減から合計特殊出生率と人口推移を予測した。自然増減とは、出生から死亡を引いたものと転入から転出を引いたものである。ただデータ化したものを閲覧するだけではなく、その数字になった根拠・近隣自治体・同規模の自治体である類似団体との比較を考慮に入れるべきと指導を受けた。ヒートマップやX軸Y軸のグラフを利用し、出生率の低さを分析などにも利用できる。次に「財政マップ」では、自治体財政状況の比較をした。自治体の財政指標(経営状況)の中には、財政力指数・経常収支比率・実施公債費比率等確認すべきものが多い。都道府県内では何位なのか、近隣自治体との差を調査すべきである。比較対象は近隣自治体のほかに、人口と産業構造に応じたグループ分けされ、Ⅲ-2のカテゴリーに区分される。全国では29市あり、静岡県内では焼津市・藤枝市・掛川市が挙げられる。今後まずは県内3市との比較データを作り上げ、項目ごとに調査検討していく必要がある。その他、「医療・福祉マップ」では、医療需要供給、介護需要供給保険料介護費用を可視化することが必要と感じた。RESASデータを行政に提供し、指摘し議会で提案活動できるよう、研鑽とシステムの学びを続けていくことが議員力の向上につながると理解した。講義の続編も学んでいきたい。</p>		